


# JVC レッスンマスターで 重ね録音にトライ!

音楽練習を効率良く行なうために開発されたポータブルレコーダー、JVC「レッスンマスター」。過去に本誌で紹介したところ、豊富な機能と使いやすさにたくさんの読者の方から反響をいただいている。今回話を聞いたのは、THE FLUTE126号にてレッスンマスターを初めて使用してくれた、Flute Ensemble FAME (ファーム) の金田桃子さん。いまや練習では手放せないほど活用しているという彼女に、その魅力について聞いた。

金田桃子 Momoko Kaneda

宇都宮市出身。宇都宮短期大学附属高等学校音楽科を経て、武蔵野音楽大学音楽学部器楽学科を卒業。これまでにフルートを、さかひは矢波、佐伯隆夫、室内楽を井上久美子の各氏に師事。マーク・グローヴェルズ氏のマスタークラスを受講。現在、オーケストラ、室内楽を中心に活動中。Flute Ensemble FAMEメンバー、足利カンマーオーケスター団員

 LessonMaster

## 第一印象からRD-R2に決めていました!



— THE FLUTE126号の取材でRD-R2を使って、その後すぐに個人的に購入されたそうですね。

金田 はい。あの時に一度使っただけなのに欲しくなってしまう。

— 購入を決めたきっかけは?

金田 色々な機能が付いているし、第一印象でRD-R2が欲しいと思った何よりの理由が、録った音をすぐに大きな音で聴けるところでした。当時持っていたレコーダーはイヤホンを付けないと音が聴けないものだったので、RD-R2の再生力はとても魅力的でした。

— RD-R2は、具体的にどんな場面で使っていますか?

金田 個人練習の時や、FAMEのアンサンブル練習で使っています。録ってすぐに、みんなで聴いて確認できるので重宝しています。今までも録音はしていましたが、その場で聴くということができないので各自持ち帰って確認していました。やっぱりその場で聴いたほうが効率がぐんと上がりますね。「ここがこうだったから、もう一回やってみよう」ってすぐにチェックできるので。

あと個人練習でも使っています。模範演奏をRD-R2に入れて、それをA-B区間リピート機能で繰り返し再生して、さらにスピードコントロール機能で再生速度を遅くして一緒に吹く。特に難しいパッセージの部分は、何かに合わせて吹いたほうが指がまわってくる気がします。そこから徐々にスピードを上げていきます。あとは聴き比べレッスン機能。模範演奏と自分の演奏の違いがダイレクトにわかるので、とても便利でした。

個人練習では、メトロノームとチューナーを使いますよね。レッスンマスターはメトロノーム、チューナー機能を使いながら録音ができるので便利です。

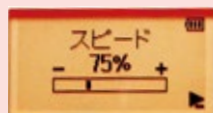
重ね録音をする時も、最初はテンポ感をつかむためにメトロノーム機能を使いながら録音していました。メトロノームがあればズレることがないので、それで慣れてきたらメトロノームなしで本番、という感じです。

### A-B区間リピート



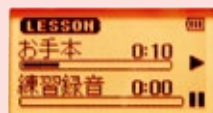
再生中にワンタッチで起点と終点を設定、その区間を繰り返し再生してくれる

### スピードコントロール



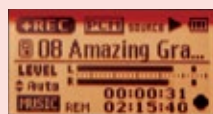
再生中に、ボタンひとつで音程を変えずに再生速度を自由に調整できる

### 聴き比べレッスン



お手本演奏に続いて自分の演奏を録音。すぐにお手本と自分の演奏を交互に聴き比べることができる

### 重ね録音



XA-LM3とRD-R2にも搭載された機能で、録音した音源に10回まで重ねて録音ができる。別のパートや違う楽器の音を重ねるのはもちろん、パソコンから取り込んだカラオケ音源などに自分の演奏を重ねることも可能だ



## RD-R2の重ね録音機能が楽しい



— 金田さんが重ね録音機能を使って録った『風笛～あすかのテーマ』を聴きましたが、とてもクオリティが高いですね。重ね録音をやろうと思ったきっかけは？

金田 今回ちょうど『風笛』をFAMEのフルートカルテットでやりたいと思っていて、アレンジしたんです。ただ、楽譜に書き起こしただけでは音のバランスなどがどんな感じなのかわからない。そこでRD-R2の重ね録音機能を使って確認してみよう。

— 音も綺麗に録れていますよね。

金田 レッスンマスターはもともと綺麗に録れるのですが、これはさらにリバーブ機能を使っています。この機能を使うとより綺麗に聞こえます。実はレッスンマスターを持つ前から重ね録音をすること自体は好きだったんです。以前はMDに録って、それをスピーカーから流して、そこにまた重ねて録音して一人でアンサンブル気分を味わっていました。レッスンマスターが一台あれば非常にクリアな音で重ね録音ができるので、やっていてとても楽しいですね。今回の『風笛』は、下のパートから順番に録っていくのではなく、重ねる順番を考えてやっています。

### ……というわけで、その場で重ね録音を実演 金田流重ね録音術!



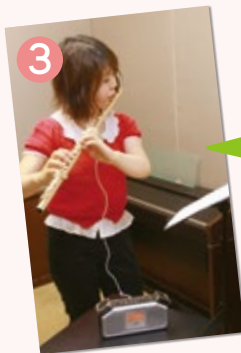
1

どのパートから重ねていけばやりやすいか、楽譜をチェック。リズムを刻むパートを最初に録音すれば、後に重ねる際テンポをつかみやすい。



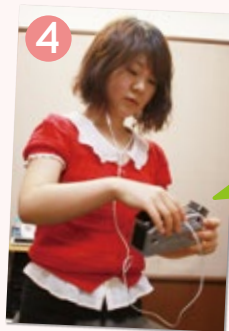
2

重ね録音ボタンを一度押すと、録音待機状態。ここで▲/▼ボタンを長押しすれば録音感度を選ぶことができる。



3

もう一度重ね録音ボタンを押して、録音スタート!



4

停止■ボタンを押して録音終了。再生ボタンを押すと今録った演奏が再生される。あとは②に戻ってさらに別のパートを重ねてみよう。重ね録音したファイルは、元のファイルとは別に保存されるので、失敗しても一つ前のファイルに戻って再度重ね録音が可能だ。

金田さんが一人で重ね録音した『風笛』、さらに今回の重ね録音の様子は、THE FLUTE オンラインにて公開予定!

<http://www.alsoj.net/flute/index.html>

レッスンマスターを使って、  
自分の音楽を伝えよう!

JVC×アルン出版 L-1 コンテスト2013

ちょいREC.No.1決定戦 開催決定!!

レッスンマスター「RD-R2」「XA-LM3」を使って録音した、あなただけの音を大募集!



今回ご紹介した重ね録音はもちろん、レッスンマスターを活用している方なら個人、グループを問わずどんな方でも応募可能。録音部門、団体部門、アイデア部門など、審査ポイントは技術の高さではありません! レッスンマスターのあとと驚く使い方をお待ちしております。

\* 詳細は THE FLUTE オンラインにて随時更新予定!! \*

自分の音を  
みんなに伝えて、  
豪華賞品を  
ゲットしよう!